

令和6年度 事業報告書（敬愛園）

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

I 総括

令和6年度は、前年度に開設した照葉けいあいホームが年間通じて高稼働を維持し、令和6年8月に開設したアットホーム板付についてもアットホーム諸岡との連携により順調なスタートを切ることができました。保育事業についても公定価格の改定により大幅に増収となりました。

支出面では、物価、水光熱費、人件費等の高騰により、経営状況はさらに厳しさを増しています。当法人としては、適正な収支コントロールを行い、事業の継続性を高めていきましたが、新規施設開設に伴う職員配置上の余剰人件費、設備備品の追加購入、既存施設の電気料金の大規模契約割引特約の終了、利用者の食事提供方法の見直し等によるコスト増が収支差額に響きました。

アットホーム博多の森では、科学的介護を基盤とした他職種連携強化が、サービスの質の向上と稼働率の安定に繋がりました。また、医療的ケア（経鼻経管栄養等）に対応できる体制により、病院からの直接相談が増加し、ロングショートの活用を通じて迅速な入居対応が可能となりました。デイサービスは、前年と同様の稼働を維持しました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、94.4%（前年比0.9%増）。デイサービスの稼働率は、65.4%（前年比0.4%減）。居宅介護支援事業所は、令和6年6月から博多の森を休止し、ケアセンター県庁口に統合しました。

アットホーム諸岡では、「介護の質の向上」を目標に掲げ、離職対策や人財確保、科学的介護の推進、感染・災害対策、業務のスリム化に取り組みました。デイサービスは、入院・利用停止等が相次ぎましたが、小規模デイサービスならではの特性を活かしたサービスを提供しました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は94.2%（前年比2.1%減）、デイサービスの稼働率は、79.1%（前年比8.4%減）となりました。

アットホーム板付は、令和6年8月に新規開設し、アットホーム諸岡と連携を図りながら、入居促進、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底に取り組みました。グループホームでは、畠作業や買い物など、利用者の残存機能の維持と生活の潤いを配慮した支援を行いました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は87.0%、グループホームの稼働率は、84.8%となりました。

アットホーム福岡では、サービスの質の向上を図るために、自立支援介護の観点から水分・運動・栄養・排泄を中心としたケアを他職種協働にて取り組みました。稼働率向上については、ショートステイのベッド調整を図るためのソフトを導入し、良い結果に繋がりました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、97.0%（前年比1.2%増）。サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、98.1%（前年比1.9%増）。ケアセンター博多の森を統合したケアセンター県庁口の年間請求件数は、1,540件（前年比5件増）。けいあい保育園の稼働率は、84.6%（前年15.3%増）となりました。

ケアスタ福岡では、事業所運営の軸となる地域交流を行いながら、稼働率の向上、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を職員全体で取り組みました。グループホームの稼働率は、94.5%（前年比2.2%増）。千代パピヨンデイサービスセンターの稼働率は、64.9%（前年比2.1%減）。小規模多機能型居宅介護の稼働率は、85.3%（前年比2.9%減）。サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、95.5%（前年比10.2%増）となりました。

福岡介護福祉専門学校では、本校の特徴である実践教育、敬愛園式介護教育法について、介護現場と連携して取り組みました。また、国家試験合格に向けて、国家試験対策を1年次より取り組むこととしました。令和7年度の入学生については、37名が入学することとなりました。

照葉けいあい保育園では、「子どもたちの健やかな成長を願い、一人ひとりのありのままの姿を尊重し、安心して失敗できる毎日を保障する」とし「子ども主体の保育」を目指し取り組み、保育者同士が共通理解をすることに力を注ぎました。園児数は、親の転勤や転居などで増減はありましたでしたが、常に定員以上は維持し、令和7年3月時点での定員充足率は、110.0%となりました。

照葉けいあいホームでは、地域に開かれたグループホームを目指し、福岡市主催のイベントへ積極的に参加し、交流を図りました。また、在宅診療・訪問看護事業所と連携し、看取りや認知症について学ぶ機会を設けました。グループホームの稼働率は、98.5%（前年比25.9%増）となりました。

法人全体の事業活動によるサービス活動収益は、27億3,677万円（前年比2億4,517万円増）。人件費は、17億5,300万円（前年比1億9,021万円増）。経費は、7億8,633万円（前年比1億2,941万円増）となりました。事業の収益性を表す経常増減差額は、2,350万円（前年比1億669万円減）。法人の収益性を分析する指標である経常増減差額比率は、0.9%（前年比4.3%減）となりました。

II 各事業所の運営状況

法人本部・在宅支援課

1. 経営基盤の確立及び施設整備

法人の適正な事業運営のため、各拠点の会計責任者（施設長）が出席する定例会を週一で開催しました。定例会では、施設運営・収支状況に関する情報を共有し、適正な予算執行に努めました。在宅支援課では、各サービス部門（グループホーム、小規模多機能型居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、居宅介護支援事業所）の強化を図りました。

2. 人材の確保・育成及び処遇改善

適正人員プロジェクトにより、適正な人員配置を原則とし、業務の効率性及び職員の意識改革を図りながら、派遣職員の活用を控える等、人件費の調整を行いました。

新規施設オープンもあり、例年以上に新卒職員を確保するため、ホームページの求人案内・ブログ等のコンテンツを充実させました。また、介護福祉士養成校との連携、職員寮の案内、奨学金制度や介護実習の受け入れを行いました。

【正職員の採用・退職等の状況】

| 事業所名 | 前年度末 の職員数 | 採用者数 | | | 退職者数 | | 法人内 異動等 | 今年度末 の職員数 |
|------------|--------------|-------------|-----------|--------|-------------|-----------|------------|--------------|
| | | 介護職員 保育士 | その他 職種 | (うち新卒) | 介護職員 保育士 | その他 職種 | | |
| アットホーム博多の森 | 68 | 3 | 2 | (2) | 2 | 1 | -1 | 69 |
| アットホーム諸岡 | 61 | 9 | 4 | (6) | 1 | 1 | -17 | 55 |
| アットホーム板付 | 0 | 8 | 1 | (2) | 1 | | 20 | 28 |
| アットホーム福岡 | 62 | 6 | 3 | (2) | 4 | 4 | -3 | 60 |
| けいあい保育園 | 7 | | | | | | 1 | 8 |
| ケアスタ福岡 | 38 | 5 | | (3) | 2 | 1 | -1 | 39 |
| 照葉けいあい保育園 | 27 | 3 | | (1) | 1 | | -1 | 28 |
| 照葉けいあいホーム | 13 | 2 | | | 2 | | | 13 |
| 法人本部 | 4 | | | (1) | | 1 | | 4 |
| 合計 | 280 | 36 | 11 | (17) | 13 | 8 | -2 | 304 |

3. 福利厚生等の充実

職員互助会については、懇親会（ホテルニューオータニ・出席者336名）やバスハイク、バーベキューのイベントを開催しました。その他、ソフトバンクホールの観戦ペアチケット・映画鑑賞券の配付、慶弔祝い金の支給等を行い、福利厚生の充実を図りました。

また、年に1度、職員の心理的な負担を把握するため、労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを行い、衛生委員会と協力して職員のメンタルヘルス（精神面における健康）に努めました。

アットホーム博多の森

1. 運営実績報告

令和6年度の運営実績は、概ね良好な結果となりました。特養の年間平均稼働率は98.5%と高水準を維持し、目標96%を大きく上回る結果となりました。科学的介護を基盤とした他職種連携強化が、サービスの質の向上と稼働率の安定に寄与したと分析しています。医療的ケア（経鼻経管栄養等）に対応できる体制により、病院からの直接相談が増加し、ロングショートの活用を通じて迅速な入居対応が可能となりました。ショートステイは、稼働率79.2%と目標には届きませんでしたが、特養への移行を見据えたロングショートの受入れが、施設全体の稼働率維持に貢献しています。

デイサービス稼働率は65.4%と目標未達でしたが、前年と同程度を維持しました。「選ばれる理由」の明確化が今後の課題であり、他事業所との差別化に向けた取り組みが求められます。

【稼働率】

| サービス区分 | 定員 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-----------|------|-------|-------|-------|
| 特別養護老人ホーム | 99名 | 95.2% | 98.6% | 98.5% |
| ショートステイ | 27名 | 78.8% | 74.6% | 79.2% |
| 入居全体 | 126名 | 91.7% | 93.5% | 94.4% |
| デイサービス | 18名 | 49.9% | 65.9% | 65.4% |
| 居宅介護支援事業所 | 年間 | 389件 | 398件 | 72件 |

※居宅介護支援事業所は、2ヶ月分の件数

【特別養護老人ホームの入居状況】

| 項目 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | |
|--------|--------|-------|-------|-------|
| 延べ入居者数 | 34名 | 27名 | 25名 | |
| 延べ退居者数 | 34名 | 25名 | 26名 | |
| 延べ入院日数 | 1,255日 | 481日 | 532日 | |
| 平均介護度 | 3.52 | 3.56 | 3.41 | |
| 割合 | 介護度1 | 0.9% | 3.5% | 8.1% |
| | 介護度2 | 13.3% | 11.8% | 12.1% |
| | 介護度3 | 36.8% | 31.8% | 30.7% |
| | 介護度4 | 30.8% | 30.8% | 28.7% |
| | 介護度5 | 18.2% | 22.2% | 20.5% |

2. 安全衛生管理状況

感染症について、コロナウイルス感染拡大が再び見られたことにより、感染症の発生件数が大きく増加しました。また、転倒や転落による事故が昨年より増加し、介護現場における危険予知と予防対策の再確認が必要となりました。

【行政への事故報告件数】

| 内容 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----------|-------|-------|-------|
| 転倒・転落・接触 | 6件 | 4件 | 7件 |
| 誤嚥・誤嚥・異食 | 7件 | 1件 | 2件 |
| 打撲・皮膚剥離 | 0件 | 0件 | 1件 |
| 食中毒・感染症 | 25件 | 5件 | 26件 |
| その他 | 3件 | 1件 | 2件 |
| 合計 | 41件 | 11件 | 38件 |

3. 職員研修

令和6年度、計画通り研修を実施することができました。

【主な内部研修】

| | 研修名 | 参加数 | | 研修名 | 参加数 |
|----|-------------------|-----|-----|------------------------|------------|
| 4月 | 感染症（BCP シュミレーション） | 14名 | 10月 | 胃ろう・喀痰吸引 | 9名 |
| 5月 | 身体拘束／権利擁護 | 15名 | 11月 | 褥瘡防止研修 | 12名 |
| 6月 | 食中毒防止研修 | 13名 | 12月 | 感染対応（実践版） 身体拘束／権利擁護 | 10名 12名 |
| 7月 | 看取り | 12名 | 1月 | 災害研修（机上訓練） | 8名 |
| 8月 | リスクマネジメント | 12名 | 2月 | 高齢者虐待 | 11名 |
| 9月 | 高齢者虐待 | 11名 | 3月 | リスクマネジメント | 15名 |

※全職員対象資料配布

※高齢者虐待／身体拘束全職員対象、各部署会議にて伝達研修実施

4. 行事報告

ご入居者及び施設職員のみで行事を実施しました。

【主な行事】

| | 行事名 |
|----|------------------------|
| 春 | 花見弁当提供・施設敷地内桜花見・ドライブ |
| 夏 | おやつ提供（ソフトクリーム、かき氷…） |
| 秋 | 敬老会・秋まつり・月限パークゴルフ |
| 冬 | おやつ提供・クリスマス会・餅つき大会 |
| 通年 | 各フロア（おやつ作り等ミニレクリエーション） |

5. 地域活動

令和6年度も引き続き、地域とのつながりを大切にしながら活動を行いました。例年開催されていた夏祭りは、猛暑の影響により中止となりましたが、町内会一斉清掃や神社神事には例年通り参加し、地域行事への貢献を継続しています。令和5年度より再開した買い物支援は、月1回の定期的な取り組みとして地域に定着しました。さらに、本年度は新たな取り組みとして、近隣事業所と合同で校区高齢者を対象とした健康チェックや体操指導を開始し、健康づくりの支援を行いました。加えて、依頼があった際には、小学校にてユマニチュードに関する講義も実施するなど、地域福祉の一端を担う活動を展開しております。

アットホーム諸岡

1. 運営実績報告

特養では、看取りやインフルエンザのクラスター発生、入院による退去が重なり、年間退去者数は過去最多の34名となりました。この影響で稼働率は目標を1.3%下回る結果となりました。ショートステイでは目標を0.4%上回る稼働率を達成しましたが、特養の不足を補うには至らず、合算での稼働率は1.1%目標に届きませんでした。施設全体としては「介護の質の向上」を目標に掲げ、離職対策や人財確保、科学的介護の推進、感染・災害対策、業務のスリム化に取り組み、一定の成果がみられました。ただし、アットホーム板付開設に伴う一体的運営体制の整備がまだ構築途中であり、今後の課題として残っています。

また、デイサービスでは、入院・利用停止等が相次ぎ、稼働率は目標に対し6.0%下回る結果となりましたが、余暇活動の充実や家族への写真・お手紙の送付、居宅ケアマネへの利用状況報告などを継続し、小規模デイサービスならではの特性を活かしたサービス提供により、一定の利用者満足は維持できたと評価しています。

【稼働率】

| サービス区分 | 定員 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-----------|-----|-------|--------|-------|
| 特別養護老人ホーム | 80名 | 95.7% | 95.8% | 94.7% |
| ショートステイ | 10名 | 99.6% | 100.1% | 90.4% |
| 入居全体 | 90名 | 96.1% | 96.3% | 94.2% |
| デイサービス | 10名 | 86.9% | 87.6% | 79.0% |

【特別養護老人ホームの入居状況】

| 項目 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|-------|-------|-------|
| 延べ入居者数 | 24名 | 21名 | 32名 |
| 延べ退居者数 | 21名 | 22名 | 31名 |
| 延べ入院日数 | 744日 | 827日 | 727日 |
| 平均介護度 | 3.88 | 3.78 | 3.66 |
| 割合 | 介護度1 | 1.0% | 1.3% |
| | 介護度2 | 6.1% | 8.8% |
| | 介護度3 | 26.3% | 29.3% |
| | 介護度4 | 37.5% | 32.0% |
| | 介護度5 | 29.1% | 28.6% |

2. 安全衛生管理状況

安全対策委員会を月に1回実施し、事故事例の共有・検証・対策検討・実施・評価を行いました。安全対策委員が中心となり、リスクマネジメントの内部研修も年2回実施しました。これらの取り組みを通して、施設内全体に事故予防の意識継続と対策検討力の向上を図りました。

【行政への事故報告件数】

| 内容 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----------|-------|-------|-------|
| 転倒・転落・接触 | 8件 | 4件 | 3件 |
| 誤嚥・誤嚥・異食 | 10件 | 9件 | 12件 |
| 打撲・皮膚剥離 | 0件 | 1件 | 0件 |
| 食中毒・感染症 | 16件 | 11件 | 2件 |
| その他 | 1件 | 0件 | 0件 |
| 合計 | 35件 | 25件 | 17件 |

3. 職員研修

各委員会活動の目標設定の1つに、内部研修の準備・実施を導入し、目標設定を明確にした上で活発な委員会活動に繋げました。その成果もあり、どの内部研修の内容も質の高い内容となっていました。また、当日内部研修に参加できないスタッフに対しても、資料・データの回覧を実施して、研修内容の共有・把握に努めました。

【主な内部研修】

| | 研修名 | 参加数 | | 研修名 | 参加数 |
|----|-----------------------|------------|-----|--------------------|------------|
| 4月 | 個人情報保護・権利擁護 災害時BCP | 66名 58名 | 10月 | 生産性向上 | 58名 |
| 5月 | 急変時対応 | 60名 | 11月 | 感染症対策BCP | 58名 |
| 6月 | 認知症 | 66名 | 12月 | 感染症対策 | 61名 |
| 7月 | 食中毒・感染症BCP 災害時BCP | 55名 名 | 1月 | リスクマネジメント | 59名 |
| 8月 | リスクマネジメント | 59名 | 2月 | 身体拘束・虐待予防 | 57名 |
| 9月 | 身体拘束・虐待予防 | 58名 | 3月 | 看取り カスタマーハラスメント | 52名 49名 |

4. 行事報告

入居者の生活に潤いをもたらすことを目的に、創意工夫を凝らしながら行事や余暇活動、外出などを企画・実践しました。行事を通じて、普段は見られないような入居者の表情や反応がみられることが多く、それがスタッフにとっても大きな振り甲斐となっています。

【主な行事】

| | 行事名 |
|----|--|
| 春 | 春の行事食、花見散歩、東平尾公園花見ドライブ母の日行事食、父の日行事食、ホワイトデーチョコレート作り、ららぽーと福岡買い物、いちご狩り、太宰府天満宮ドライブ、駕与丁公園ドライブ、五十川公園ドライブ、春日公園、水車橋後縁ドライブ、誕生日会 |
| 夏 | 土用丑の日（うなぎひつまぶし風）、ユニット夏祭り（各フロア）、志賀島ドライブ、ららぽーと福岡買い物、山笠見学、精進料理、パフェ作り、誕生日会 |
| 秋 | RUN伴2024～中継地点 ランナー応援～、敬老会、誕生日会、ドライブ（花・景色見学）、コスモス・菊見学、紅葉見学、ハロウィン行事食、ハロウィンパーティー、花火大会、かき氷イベント、綿菓子作り、誕生日会 |
| 冬 | 太宰府天満宮ドライブ、クリスマス会、忘年会、新年祝賀挨拶、初詣、節分（ちらし寿司）、誕生日会、ひな祭り（イベント食）、チョコレートフォンデュ、ドライブ、バレンタインデーチョコレート作り、焼き芋会 |
| 通年 | フラワーアレンジメント（毎月2回）、音楽療法（月2回） 傾聴ボランティア（月1回） |

5. 地域活動

- ・地域清掃 週1回 毎週火曜日 10時30分から実施。
- ・傾聴ボランティアうぐいす（1回／月）
- ・地域ボランティア来設（1回／月）
- ・地域買い物支援（1回／月）※現在、希望者なしの為、一時休止中
- ・夢授業 小学校5年生を対象に福祉の仕事の説明を実施（板付北小学校）
- ・外部講師派遣（認サポ・キッズサポーター講師活動）
- ・地域子供神輿見学（地域夏祭り）
- ・地域防災訓練

アットホーム板付

1. 運営実績報告

令和6年8月1日に新規開設、これまでの施設運営のノウハウを活かしスムーズな入居案内ができました。また、アットホーム諸岡と連携を図りながら、入居促進、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を職員全員で取り組みました。その結果、特養およびショートステイを併せた稼働率は、目標を16.1%上回る結果となりました。

グループホームにおいても、開設から約2ヶ月で満床となり、目標を9.8%上回る稼働結果となりました。畠作業や買い物など、利用者に役割を持っていただくことで、残存機能の維持と生活の潤いを配慮した支援を行いました。

【稼働率】

| サービス区分 | 定員 | 令和6年度 |
|-----------|-----|-------|
| 特別養護老人ホーム | 29名 | 92.0% |
| ショートステイ | 11名 | 74.0% |
| 入居全体 | 40名 | 87.0% |
| グループホーム | 9名 | 84.8% |

【特別養護老人ホームの入居状況】

| 項目 | 令和6年度 | |
|--------|-------|-------|
| 延べ入居者数 | 37名 | |
| 延べ退居者数 | 8名 | |
| 延べ入院日数 | 192日 | |
| 平均介護度 | 3.12 | |
| 割合 | 介護度1 | 9.3% |
| | 介護度2 | 12.9% |
| | 介護度3 | 38.3% |
| | 介護度4 | 34.9% |
| | 介護度5 | 4.5% |

2. 安全衛生管理状況

安全対策委員会を月に1回実施し、事事故例の共有・検証・対策検討・実施・評価を行いました。安全対策委員が中心となり、リスクマネジメントの内部研修も年2回実施しました。これらの取り組みを通して、施設内全体に事故予防の意識継続と対策検討力の向上を図りました。

【行政への事故報告件数】

| 内容 | 令和6年度 |
|----------|-------|
| 転倒・転落・接触 | 6件 |
| 誤嚥・誤嚥・異食 | 6件 |
| 打撲・皮膚剥離 | 0件 |
| 食中毒・感染症 | 2件 |
| その他 | 1件 |
| 合計 | 15件 |

3. 職員研修

開設に向けて、基本的な知識や技術の習得、サービスの質の向上を目的として、開設準備段階である7月より、新規採用者および異動者を対象とした職員研修を実施しました。開設後は、本体施設であるアットホーム諸岡とも連携し、これまでのノウハウを共有しながら研修内容の充実を図り、一体的に職員研修を行いました。

【主な内部研修】

| | 研修名 | 参加数 | | 研修名 | 参加数 |
|----|-----------|-----|-----|--------------------|------------|
| 4月 | | | 10月 | 生産性向上研修 | 28名 |
| 5月 | | | 11月 | 感染時BCP 災害時BCP | 28名 6名 |
| 6月 | | | 12月 | 感染症対策 | 26名 |
| 7月 | 入職時研修 | 19名 | 1月 | リスクマネジメント | 26名 |
| 8月 | リスクマネジメント | 27名 | 2月 | 身体拘束・虐待予防 | 27名 |
| 9月 | 身体拘束・虐待予防 | 27名 | 3月 | 看取り カスタマーハラスメント | 26名 24名 |

4. 行事報告

開設間もないため大規模な行事の実施はまだできておりませんが、食に関する行事を中心に企画・実施しており、入居者様からも大変ご好評をいただいております。

【主な行事】

| | 行事名 |
|----|--|
| 夏 | 土用丑の日（うなぎひつまぶし風）、精進料理、誕生日会 |
| 秋 | 敬老祝賀会（デザートビュッフェ）、ハロウィン行事食、誕生日会 |
| 冬 | 鍋パーティー、クリスマス会（デザートビュッフェ）、新年祝賀会、 ケアビューティ、ひな祭り（イベント食） |
| 通年 | フラワーアレンジメント（毎月2回） 音楽療法（月1回） 傾聴ボランティア（月1回） |

5. 地域貢献活動

- ・夢授業 小学校5年生を対象に福祉の仕事の説明を実施（板付北小学校）
- ・地域防災訓練参加
- ・中国施設見学対応（婦人会会长紹介）計12名
- ・地域老人ダーツの会に地域交流ルームを週1回開放

アットホーム福岡

1. 運営実績報告

サービスの質の向上を図るため、昨年度に続き、自立支援介護の観点から水分・運動・栄養・排泄を中心としたケアを他職種協働にて取り組みました。稼働率向上については、ショートステイのベッド調整を図るためのソフトを導入したことで、管理面での効率が向上し、結果的に特養・ショートステイの合算の目標稼働率の達成において良い結果に繋がりました。コロナ禍よりご入居者とご家族との関わりの場が少なかったこともあり、今年度は、ご入居者の誕生日にご家族参加型での全体合同誕生会を月1回開催しました。施設行事として職員全体でお祝いすることができました。おやつと一緒に食べたり、記念撮影をしたりとご入居者・ご家族も大変喜ばれていました。

【稼動率】

| サービス区分 | 定員 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|
| 特別養護老人ホーム | 100名 | 96.0% | 95.4% | 96.4% |
| ショートステイ | 18名 | 95.2% | 98.4% | 100.2% |
| 入居全体 | 118名 | 95.9% | 95.8% | 97.0% |
| サービス付き高齢者向け住宅 | 35名 | 94.5% | 96.2% | 98.1% |
| 居宅介護支援事業所(件数) | 1,042件 | 1,137件 | 1,468件 | |

【特別養護老人ホームの入居状況】

| 項目 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|-------|-------|-------|
| 延べ入居者数 | 22名 | 25名 | 28名 |
| 延べ退居者数 | 23名 | 26名 | 25名 |
| 延べ入院日数 | 953日 | 979日 | 803日 |
| 平均介護度 | 3.46 | 3.48 | 3.54 |
| 割合 | 介護度1 | 4.8% | 6.1% |
| | 介護度2 | 10.9% | 13.1% |
| | 介護度3 | 34.5% | 31.7% |
| | 介護度4 | 33.2% | 24.9% |
| | 介護度5 | 16.6% | 24.3% |

2. 安全衛生管理状況

昨年度同様に職員の職場環境改善のため、ユニットのみでなく、同階や他ユニットとの協力体制を構築し、残業時間の削減に努めました。今年度より生産性向上委員会を立ち上げ、できることからの業務改善に取り組みました。介護ロボットやICT化推進に向けては、福岡県の補助金を活用し、3階から5階にWi-Fi環境整備を行い、次年度より導入に向けた取り組みを実施していきます。事故について、コロナ感染40名、ノロウイルス5名報告に至っています。感染症については次年度も引き続き予防啓発に努めています。その他7件の内6件が原因不明な骨折事故が発生しました。事故分析により移乗介助場面での発生の可能性もあり、事故後の振り返りで移乗介助方法の確認を行いました。異食事故1件は洗剤の誤飲であり、ユニット環境の見直しを行い、危険な物に関しての保管方法の徹底を図りました。

【行政への事故報告件数】

| 内容 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----------|-------|-------|-------|
| 転倒・転落・接触 | 4件 | 3件 | 2件 |
| 誤薬・誤嚥・異食 | 3件 | 3件 | 3件 |
| 打撲・皮膚剥離 | 0件 | 0件 | 0件 |
| 食中毒・感染症 | 0件 | 0件 | 45件 |
| その他 | 2件 | 5件 | 7件 |
| 合計 | 9件 | 11件 | 57件 |

3. 職員研修

サービスの質向上のため、人材育成を重要課題と捉え、研修形態を全体研修(運営基準等)、職種別研修、フォローアップ研修、新人研修の4つの分野に分類し、年間計画として実施しました。今年度も継続して、同内容を全職員共通理解の目的でオンライン動画研修を導入継続しました。今年度は、虐待疑いについて行政報告し、虐待該当と結果を受けました。

8月に臨時職員会議を開催し、原因と対策を検討し、再発防止に向けた啓発を図りました。今年度から感染症及び非常災害発生時においての業務継続計画の研修及び訓練が必須となりました。発生を想定した訓練においては、実際に行動に移せるように今後も研修・訓練内容の検討を行っていきます。

【主な内部研修】

| | 研修名 | 参加数 | | 研修名 | 参加数 |
|----|-------------------------------------|------------------|-----|----------------------------|------------|
| 4月 | 接遇研修 | 63名 | 10月 | ターミナルケア研修 認定特定行為業務従事者研修 | 59名 4名 |
| 5月 | 身体拘束廃止・高齢者虐待防止 認定特定行為業務従事者研修 | 66名 4名 | 11月 | 褥瘡予防 BCP・訓練（感染症） | 61名 16名 |
| 6月 | メンタルヘルス研修 LIFE・ケアプラン勉強会 | 62名 19名 | 12月 | 緊急時の対応 | 61名 |
| 7月 | 事故発生又は再発防止 虐待防止研修（対面） 感染症予防訓練 | 62名 43名 8名 | 1月 | 感染症及び災害 BCP 救急対応 | 61名 14名 |
| 8月 | プライバシー保護 臨時職員会議（虐待防止） | 63名 42名 | 2月 | 自立支援介護 身体拘束廃止（対面） | 61名 8名 |
| 9月 | 感染症・食中毒の予防 | 63名 | 3月 | 認知症ケア BCP訓練（災害） | 61名 12名 |

4. 行事報告

企画内容も外出や飲食可能な行事を取り入れ、ご入居者の楽しみや社会参加の場を提供することができました。合同誕生会ではご家族と過ごす時間を増やすことができました。個人の願いごと叶えに関しても、担当職員がご本人の願いを伺い、企画し実施することができました。地域交流夏祭りに関しては、ご家族や地域の方々の参加の中実施し、有意義な時間を過ごされ、大変喜ばれていました。

【主な行事】

| | 行事名 |
|----|------------------------|
| 春 | 福岡動植物園外出 |
| 夏 | 野球観戦 地域交流夏祭り 訪問販売（買い物） |
| 秋 | 野球観戦 敬老祝賀会 |
| 冬 | もちつき 鏡開き |
| 通年 | 合同誕生会 ユニット行事 個人の願いごと叶え |

5. 地域貢献活動

昨年度まで千代地区事業者ネットワーク連絡会として参加事業所と協働のもと地域貢献活動を実施しましたが、令和6年度は活動範囲と新たな参加事業所も加わり「おいさ博多」というネットワークを再構築し、博多第1圏域内を中心に取り組みました。2ヶ月に1回定例会を開催、地域支援として千代の「まちの保健室」・御供所の「ごくごくカフェ」の支援、その他各地域の会議や研修に参加し、地域交流を図りました。

その他、福岡市主催の公民館や小学校でのユマニチュード講座や認知症サポーター養成講座を実施しました。また、千代校区の行事（山笠・ふれあいフェスタ千代）にも参加し、地域の方々との交流を図りました。

けいあい保育園

1. 運営実績報告

今年度は、保育士の質を高め、稼働率を上げることを目標として業務に取り組みました。職員会議では子どもへの取り組み方・保護者とのコミュニケーションについて共有し、職員が同じ方向に取り組んでいくことができた。今後も、職員が責任をもち行動出来るように、健康面や心のケアに配慮し、質を高めていきます。

【稼動率】

| サービス区分 | 定員 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|-----|-------|-------|-------|
| 小規模保育園 | 19名 | 83.8% | 69.3% | 84.6% |

2. 職員研修

保育士の専門性を高めることを目的として研修を実施しました。子どもの気持ちに寄り添える保育意識を高め今後も取り組んでいきます。

【主な研修】

| | 研修名 | 参加数 |
|-----|---------------------------|-----|
| 5月 | 巡回支援、保健衛生研修会、子どもの口の発達と歯 | 3名 |
| 6月 | 人権保育研修会、救急講習、保育園ソーシャルワーカー | 4名 |
| 8月 | 保育施設における不適切保育、保育研修 | 2名 |
| 9月 | 要保護児童支援地域協議会、キャリアアップ幼児教育 | 2名 |
| 10月 | キャリアアップ幼児教育、衛生・安全、保護者支援等 | 8名 |
| 11月 | 健康・安全研修会 | 1名 |
| 12月 | キャリアアップ乳幼児保育、保育研修会②等 | 7名 |
| 1月 | 人権研修 | 1名 |
| 3月 | 男女共同、男女共同参画学習 | 1名 |

3. 行事報告

春には、感染症予防をしながら、入居者様と交流が出来た。発表会では、年齢ごとに実施。日頃の遊びなど見ていただき、保護者に子どもの成長を褒めて頂いた。行事を通して保育士、園児、成長していきたいと考えております。

【主な行事】

| | 行事名 |
|----|-----------------------------|
| 春 | 入園式・進級式 健康診断 鯉のぼりの会 母の日会 |
| 夏 | 歯科検診 プール開き 七夕会 園内夏祭り 食育会 |
| 秋 | 敬老の会 お別れ会（発表会） 秋の会 健康診断 |
| 冬 | 正月の会 豆まき ひな祭りの会 バレンタイン会 卒園式 |
| 通年 | 身体測定 避難訓練 誕生日会 |

ケアスタ福岡

1. 運営実績報告

新型コロナウイルス等の感染症に留意し、本来の事業所運営の軸となる地域交流を行いながら、稼働率の向上、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を職員全体で取り組みました。令和6年度は小規模多機能型居宅介護・グループホームが初めての指定更新を終え、また介護保険の主な改定項目に対し、委員会や会議等の見直し充実を図りました。また、地域の相談窓口として、在宅サービスのみならず、相談者に合わせた入居案内、実利用者の状況に合わせ特養・サ高住への案内など、法人貢献を行いました。

【稼動率】

| サービス区分 | 定員 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---------------|-----|-------|-------|-------|
| デイサービス | 45名 | 66.0% | 67.0% | 65.1% |
| グループホーム | 18名 | 85.1% | 92.3% | 94.5% |
| 小規模多機能型居宅介護 | 29名 | 94.3% | 88.2% | 85.3% |
| サービス付き高齢者向け住宅 | 11名 | 85.6% | 85.3% | 95.5% |

2. 安全衛生管理状況

新型コロナウイルス等の感染症に対し、感染症予防対策の徹底を行いました。

リスクマネジメント委員会において、事故内容の検証やヒヤリハットの重要性を掲げ、意識改革に取り組んでおり、事故件数も減少しています。

【行政への事故報告件数】

| 内容 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----------|-------|-------|-------|
| 転倒・転落・接触 | 4件 | 4件 | 7件 |
| 誤薬・誤嚥・異食 | 10件 | 2件 | 0件 |
| 打撲・皮膚剥離 | 4件 | 3件 | 0件 |
| 食中毒・感染症 | 0件 | 0件 | 0件 |
| その他 | 1件 | 0件 | 0件 |
| 合計 | 19件 | 9件 | 7件 |

3. 職員研修

新型コロナウイルス等の感染症に留意しながら、外部研修への積極的な参加、ケアスタ福岡を中心に在宅サービス事業所にて委員会を行い、各事業所内会議にて資料を基に内部研修を行いました。また、浸水地域であることから、災害訓練を実施。能登被災状況報告や実際に非常食を提供するなど、利用者・入居者にも参加して頂き、防災に対する意識付けを行いました。

【主な内部研修】

| | 研修名 | | 研修名 |
|----|--------------------------------|-----|-----------------|
| 4月 | 急変時の対応について | 10月 | 感染症予防・まん延防止について |
| 5月 | 介護現場のプライバシーの保護について | 11月 | 身体拘束排除、スピーチロック |
| 6月 | 食中毒について | 12月 | 業務継続計画(BCP)について |
| 7月 | コンプライアンス、法令順守、苦情を活かせばサービスにつながる | 1月 | ハラスメントについて |
| 8月 | 入浴介助/身体拘束研修 | 2月 | 高齢者虐待防止について |
| 9月 | 認知症について | 3月 | 権利擁護研修について |

4. 行事報告

季節行事、食事イベントの充実と様々な外出イベントへの参加を行いました。

【主な行事】

| | 行事名 |
|----|--------------------------------|
| 春 | 節分、ひな祭り、花見ドライブ |
| 夏 | 外出企画、山笠見学・そうめん流し、土用の丑の日、夏祭り |
| 秋 | 敬老会はサービスごと開催 |
| 冬 | 忘年会、クリスマス会、餅つき大会、初詣、鏡開き、書初め |
| 通年 | 小規模な誕生日会を実施、九州美味しいものフェア（年4回程度） |

5. 地域貢献活動

地域清掃等の地域交流においては、利用者と共に参加、山笠への職員派遣、事業所の開放、法人が事務局を行っている「おいさ博多」（博多第一圏域事業所）において実施している「まちの保健室」へ積極的に参加しています。

福岡介護福祉専門学校

1. 運営実績報告

本校の特徴である実践教育、敬愛園式介護教育法について、介護現場と連携して取り組みました。国家試験合格に向けて、国家試験対策を1年次より取り組むこととしました。学生募集は、留学生の受験者が増加したことと、令和7年度入学生は37名が入学しました。

【学生募集活動の状況】

| 項目 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---------------|-------|-------|-------|
| オープンキャンパス参加者数 | 42名 | 337名 | 241名 |
| 入学試験 | 受験者 | 28名 | 154名 |
| | 合格者 | 28名 | 40名 |
| | 入学辞退等 | 0名 | 0名 |
| 次年度入学者 | 28名 | 40名 | 37名 |
| うち留学生 | 18名 | 27名 | 31名 |

【令和6年度の学生数及び定員充足率等】

| 項目 | 全体(80名) | 内訳 | |
|---------------|---------|----------|----------|
| | | 2年生(40名) | 1年生(40名) |
| 令和6年4月現在の学生数 | 65名 | 25名 | 40名 |
| うち留学生 | 43名 | 16名 | 27名 |
| 定員充足率 | 81.3% | 62.5% | 100.0% |
| 学生数に対する留学生の割合 | 66.2% | 64.0% | 67.5% |
| 学生の動向 | 退学 | 1名 | 0名 |
| | 休学 | 0名 | 0名 |
| | 留年 | 1名 | 0名 |
| | 進級 | 38名 | — |
| | 卒業 | 25名 | 25名 |

2. 奨学会（奨学金制度）

令和6年度は、学生43名（うち1年生27名、2年生16名）が認定されました。2年生については、令和7年4月に奨学会会員施設に就職し、債権譲渡契約を締結しております。

令和5年度卒業生についても、各施設を訪問してフォローアップ面接を行い、会員施設との情報交換を行っております。会員法人からの更なる信頼醸成と、奨学会加入に対する価値向上に努め、安定運営に繋げていきます。

【奨学会奨学金貸与額（一人当たり）】

| | |
|------------|----------|
| 入学準備金 | 150,000円 |
| 月額 | 35,000円 |
| 奨学金合計（2年間） | 990,000円 |

照葉けいあい保育園

1. 運営実績報告

本園の保育の願いは「子どもたちの健やかな成長を願い、一人ひとりのありのままの姿を尊重し、安心して失敗できる毎日を保障する」とし「子ども主体の保育」を目指し取り組み、保育者同士が共通理解をすることに力を注ぎました。園の周りの地域環境も職員同士で情報交換をしながら年齢にあった場所や体験ができるよう計画をして保育の中に取り入れました。いろいろな事を体験することで工夫したり友達同士の話し合いが出来たり、してみたいに挑戦する姿が見られたことが子どもたちと保育士の成果です。園児数は親の転勤や転居などで令和6年に入り増減が見られました。

【園児数】

| クラス | 年齢 | 定員 | 令和6年 4月時点 | 令和7年 3月時点 | 定員充足率 |
|-------|----|------|--------------|--------------|--------|
| たんぽぽ組 | 0歳 | 15名 | 12名 | 14名 | 93.3% |
| すみれ組 | 1歳 | 20名 | 25名 | 25名 | 125.0% |
| れんげ組 | 2歳 | 20名 | 23名 | 25名 | 125.0% |
| ゆり組 | 3歳 | 25名 | 26名 | 25名 | 100.0% |
| ひまわり組 | 4歳 | 25名 | 27名 | 28名 | 112.0% |
| さくら組 | 5歳 | 25名 | 25名 | 26名 | 104.0% |
| 合計 | | 130名 | 138名 | 143名 | 110.0% |

2. 行事報告

開園して3年が過ぎ、職員・園児たちも園舎の利用の仕方など体験しながら保育の内容もリズム遊び・運動遊びも園庭、ホール・廊下などうまく利用しながらその都度話し合い、解決方法を見出しています。行事は、夏野菜を育てたり収穫したものでクッキングをしたりして異年齢児との交流もスムーズになりました。卒園生が出来たことでお店屋さんなどに招待した。また、運動会、夏祭り、秋祭り、クリスマス会、豆まきなどを隣のグループホームと交流を図り思い出作りの一助になった。子どもに合った構成環境を模索しているところであり、地域との交流も少なく今後の課題である。

【主な行事】

| | 行事名 |
|----|---|
| 春 | 入園式、親子遠足、懇談会、夏野菜植え |
| 夏 | スイカ割り、お店屋さんごっこ、お月見会クッキング |
| 秋 | マリンワールド探検、和出汁試食会、交通教室、クッキング（お月見） 運動会、秋祭り、芋ほり遠足、観劇会、科学館 |
| 冬 | クリスマス会、行事食、節分、ひな祭り、保育参観、クッキング バイキング、お別れ遠足、年長児茶話会給食試会、卒園式 |
| 通年 | 畑で野菜づくり、お誕生日のお祝い |

3. 職員研修

自園での職員研修は2回程。同法人内の保育園で実施された研修に参加することで「人権に配慮し子ども一人ひとりの人格を尊重する」という保育理念を職員全体に周知することができました。他園の保育を参観したり、運動会などを見学したりしながら保育の一助にしていった。
※福岡市や保育協会の職員研修に多数参加した。

【主な研修】

| | 研修名 | 参加数 | | 研修名 | 参加数 |
|----|-------------|-----|-----|----------------|-----|
| 4月 | 新人研修 | 1名 | 10月 | 人権研修等 | 2名 |
| 5月 | 新規採用職員研修等 | 3名 | 11月 | 保育者育成研修会等 | 10名 |
| 6月 | さぽーと保育研修 | 8名 | 12月 | 発達研修・さくらんぼリズム他 | 4名 |
| 7月 | 支援者研修等 | 7名 | 1月 | 特別支援研修会 | 1名 |
| 8月 | 主任研修、保育研修会等 | 5名 | 2月 | 保育を学ぶ（姫野研修） | 3名 |
| 9月 | インプロ研修等 | 7名 | 3月 | 主任研修会 | 1名 |

※その他、大池保育園・愛宕保育園等の参観研修に参加。キャリアアップ研修にも積極的に受講する。

照葉けいあいホーム

1. 運営実績報告

令和6年度は、地域に開かれたグループホームを目指し、福岡市主催の様々なイベント等へ積極的に参加し、交流を図ってきました。また、在宅診療・訪問看護事業所と連携し、看取りや認知症について学ぶ機会を設けたことにより、入院期間の短縮に繋がりました。法人内の在宅サービス事業所と連携し、委員会や会議を開催。入居促進、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を職員全員で取り組みました。

【稼動率】

| サービス区分 | 定員 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---------|-----|-------|-------|
| グループホーム | 18名 | 72.6% | 98.5% |

2. 安全衛生管理状況

新型コロナウイルス等の感染症の予防に留意していましたが、入居者・職員の半数以上にコロナ感染者が出てしまいました。

リスクマネジメント委員会において、事故内容の検証やヒヤリハットの重要性を掲げ、意識改革に取り組んでおり、誤薬事故件数は減少しています。

【行政への事故報告件数】※コロナ等の感染についても報告する必要あり

| 内容 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----------|-------|-------|
| 転倒・転落・接触 | 0件 | 2件 |
| 誤薬・誤嚥・異食 | 8件 | 1件 |
| 打撲・皮膚剥離 | 2件 | 0件 |
| 食中毒・感染症 | 0件 | 11件 |
| その他 | 0件 | 0件 |
| 合計 | 10件 | 14件 |

3. 職員研修

新型コロナウイルス等の感染症に留意しながら、外部研修の積極的な参加、在宅サービス事業所にて委員会を行い、会議にて資料を基に内部研修を行いました。

【主な研修】

| | 研修名 | | 研修名 |
|----|--------------------------------|-----|-----------------|
| 4月 | 急変時の対応について | 10月 | 感染症予防・まん延防止について |
| 5月 | 介護現場のプライバシーの保護について | 11月 | 身体拘束排除、スピーチロック |
| 6月 | 食中毒について | 12月 | 業務継続計画（BCP）について |
| 7月 | コンプライアンス、法令順守、苦情を活かせばサービスにつながる | 1月 | ハラスメントについて |
| 8月 | 入浴介助/身体拘束研修 | 2月 | 高齢者虐待防止について |
| 9月 | 認知症について | 3月 | 権利擁護研修について |

4. 行事報告

福岡市認知症フレンドリーシティプロジェクトに協力し、様々なイベントに参加。グループホームにおいては、節分、敬老会などのレクリエーション、入居者一人ひとりに合わせた外出等の企画、季節の野菜を育てるなど、グループホームの特徴を活かした行事を実施しました。

【主な行事】

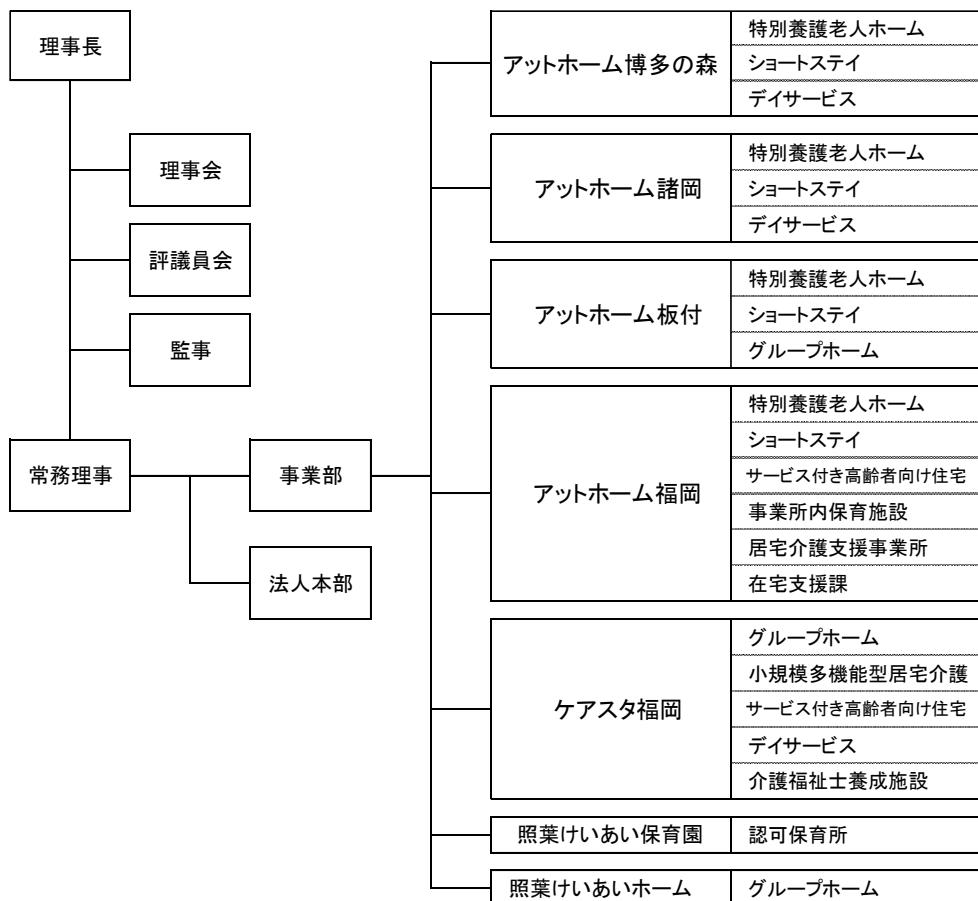
| | 行事名 |
|----|----------------------------|
| 春 | 節分、花見、苗植え |
| 夏 | 収穫祭、七夕 |
| 秋 | 敬老会、コスモス散策、保育園秋祭り・保育園運動会参加 |
| 冬 | クリスマス会、照葉カフェ、マリンワールド外出 |
| 通年 | 有言実行隊（入居者の望むことを計画し実行） |

5. 地域貢献活動

福岡市主催の様々なイベント等へ積極的に参加し、交流を図ってきました。高齢化率が低い地域であるため、地域包括支援センターとの連携を軸に、貢献できるよう、地域のイベント等へ参加したいと思っています。

III 組織図

令和 7 年 3 月 31 日現在



【サービス・定員数】

| 施設名 | サービス・定員数 (○印は定員なし) | | | | | | | | |
|------------|--------------------|----|----|------|----|-----|-----|-----|------|
| | 特養 | SS | DS | 居宅支援 | GH | 小多機 | サ高住 | 保育園 | 専門学校 |
| アットホーム博多の森 | 99 | 27 | 18 | | | | | | |
| アットホーム諸岡 | 80 | 10 | 10 | | | | | | |
| アットホーム板付 | 29 | 11 | | | 9 | | | | |
| アットホーム福岡 | 100 | 18 | | ○ | | | 35 | 19 | |
| ケアスタ福岡 | | | 45 | | 18 | 29 | 11 | | 80 |
| 照葉けいあい保育園 | | | | | | | | 130 | |
| 照葉けいあいホーム | | | | | 18 | | | | |
| 合計 | 308 | 66 | 73 | | 45 | 29 | 46 | 149 | 80 |

【職員数】

| 施設名 | 介護職員 | | 看護職員 | | 保育士 | | 他の専門職 | | 合計 |
|--------------|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | |
| アットホーム博多の森 | 53 | 2 | 7 | | | | 11 | 4 | 77 |
| アットホーム諸岡 | 41 | 2 | 4 | 2 | | | 10 | 7 | 66 |
| アットホーム板付 | 23 | | 2 | | | | 3 | 1 | 29 |
| アットホーム福岡 | 49 | 2 | 4 | 1 | 7 | | 15 | 6 | 84 |
| ケアスタ福岡 | 32 | 9 | 2 | 1 | | | 9 | 3 | 56 |
| 照葉けいあい保育園 | | | | | 24 | 7 | 5 | 2 | 38 |
| 照葉けいあいホーム | 12 | 2 | | | | | 2 | | 16 |
| 法人本部(出向職員含む) | | | | | | | 7 | | 7 |
| 合計 | 210 | 17 | 19 | 4 | 31 | 7 | 62 | 23 | 373 |

事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人敬愛園
理事長 益田康弘